

子供の生活実態調査について

1 目的

子供とその保護者及び子供等の相談・支援に関わる機関の従事者に対するアンケート調査を和歌山県と協働で実施し、子供の生活実態や学習環境などを把握するとともに、各施策や支援制度についての検証を行う。

2 本市における調査の概要と結果の活用

和歌山県から本市に提供される当該調査結果を基に、更に詳細な分析・研究を実施し、次期計画に反映するとともに、今後の施策に効果的な展開を図る。

3 調査対象者（予定）

（1）県内小中学校（国公立）に在籍している

①小学5年生及びその保護者（約 8,100 人（県内））

《参考》約 2,770 人（本市公立）

②中学2年生及びその保護者（約 8,300 人（県内））

《参考》約 2,570 人（本市公立）

（2）支援関係従事者（保育所・幼稚園等、小・中学校、民生委員等、児童相談所、福祉事務所、子供関連 NPO 法人他）

4 調査方法（予定）

学校での配布、郵送による回収

（和歌山県が委託契約した事業者が各学校に調査票を送付後、学校で）

5 スケジュール

平成 30 年 6 月 アンケート調査票配布開始（県）

上半期 各市町村に対し実態調査結果の報告及び公表（県）

※和歌山市における詳細な分析・研究の実施時期は、県からデータが提供された後になる見込

6 参考資料

平成 28 年度大阪府で実施した調査票（保護者向け・小中学生向け）